

第4章

しずおか ユニバーサルデザイン 資料編

静岡県作成のユニバーサルデザイン資料

ユニバーサルデザインを県民生活の様々な分野に広めていくために、県では、ユニバーサルデザインの考え方を紹介するパンフレットや、事業活動に導入する際の参考になるマニュアル、行政担当者に向けた公共建築物への導入方策、実践事例、情報発信、イベント等のソフト事業への導入指針などを作成しています。

ユニバーサルデザイン全般

■ 快適空間しずおか しずおかユニバーサルデザイン

しずおかユニバーサルデザインを広く県民に普及するために、バクのイラストを使ってユニバーサルデザインの理念や街中での事例を紹介しています。日本語版のほか、英語、点字版も作成しました。(平成11年度)

■ しずおかユニバーサルデザイン懇話会提言

県内外の専門家や有識者による懇話会では“社会の隅々までユニバーサルデザインの考え方を浸透していくこと”を目標に、体験や研究などを通じた様々な観点から総合的に意見交換をしました。それを提言として取りまとめたものです。(平成11年度)

■ しずおかユニバーサルデザイン行動計画

ユニバーサルデザインの考え方を県の施策・事業の中に具体的に取り入れ、これらを計画的かつ体系的に実施していくために策定しました。(計画期間:平成12年度から平成16年度までの5年間)(平成11年度)

■ しずおかユニバーサルデザイン事例集

県民への意識の啓発、市町村、事業者の取組を促進するために、県内にある施設のユニバーサルデザインの導入事例を写真やイラストで紹介しています。(平成12年度)

■ ユニバーサルデザインによる地域づくりシンポジウム講演録

平成12年9月に実施した「ユニバーサルデザインによる地域づくり」シンポジウムでの基調講演や事例発表、パネルディスカッションの内容を収録しています。(平成12年度)

■ ユニバーサルデザイン入門

ユニバーサルデザインの普及と推進の裾野を拡大していくために、様々な分野で活躍している専門家を講師に開催した「しずおかユニバーサルデザイン専門講座」の講義内容を中心に、UD入門書として(株)ぎょうせいから出版しました。(平成13年度)

■ しずおかユニバーサルデザイン

子育てグループと協働してジグソーパズルをモチーフに、相手の立場に立って考えたり、困っている人を見かけたら手助けしたりする“心のユニバーサルデザイン”の実践やユニバーサルデザインへの意見や提案を自由に書いて送付してもらうハガキを添付しています。(平成14年度)

■ ユニバーサルデザイン教員研修用テキスト

子どもたちにユニバーサルデザインを理解してもらうため、教員用の手引書として作成しました。教育現場で活用しやすいように、県のユニバーサルデザインのホームページでも公開しています。(平成15年度)

ホームページアドレス <http://www.pref.shizuoka.jp/ud/datas/textbook/0307textbook2.html>

■ 実践!心のユニバーサルデザイン

静岡県職員が来庁する人に応対する際、ぜひ知っておいてもらいたい基本的なことや、知っておくと便利なヒントをまとめました。直接県民に接している職員からアンケート調査を行い、普段心がけている点などを実践ケースとして紹介しています。(平成16年度)

■ しずおかユニバーサルデザイン行動計画2010

県内外の有識者で構成する「しずおかユニバーサルデザイン行動計画策定委員会」での検討をはじめ、県内各地で開催したシンポジウム等での県民からの意見を参考に作成しています。102項目の数値目標を設定し、より実効性の高い計画としました。(平成17年度)

■ みんなで進めよう!!しずおかユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインの導入事例や、“心のユニバーサルデザイン”の実践などを写真とイラストで紹介しています。折りたたみ式のパンフレットで、日本語のほか、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、ポルトガル語版も作成しました。(平成19年度)

■ しずおかユニバーサルデザイン講演録集

平成19年度に県が開催した各種講座や世界高齢者団体連盟会長等の記念講演、UDフェアでのパネルトークなどを取りまとめました。(平成20年度)

■ ユニバーサルデザインに基づく公共建築物の企画設計の考え方

公共建築物の企画設計の参考とするため、床の段差解消やエレベーター、託児室、ベビールーム、広いトイレの設置など、専門家や県民からのアドバイスや要望、職員が行った高齢者や障害のある人の疑似体験などを通して検討した結果を取りまとめています。(平成11年度)

■ ユニバーサルデザインを活かした建築設計

「ユニバーサルデザインに基づく公共建築物の企画設計の考え方」に、“県有建築物利用者満足度調査”などを通じた研究や調査の結果とサイン計画を追加した改訂版です。(平成12年度)

■ しずおかユニバーサルデザインをふまえた公営住宅

ユニバーサルデザインに基づく公営住宅整備の考え方や県営早出団地(浜松市)の導入事例を紹介しています。(平成12年度)

■ ユニバーサルデザインによる既存施設サイン計画ガイドライン

増改築や利用状況の変化により、当初のサインシステムが機能せず、利用者に分かりにくい状況になっている既存施設のサイン計画を改修する際のガイドラインです。静岡県立総合病院をモデル施設として選定し、設定した計画プロセスを検証しながら、あるべきサイン計画の方向性を確認するものです。(平成14年度)

■ みんなにやさしい住まいづくり

設計者や施工者など建築業に携わっている事業者が住宅にユニバーサルデザインを導入する際の、基本的なポイントやアイデア、ヒントなどを取りまとめました。計画から設計・施工までのポイントごとに写真や図を交えて紹介しています。(平成17年度)

建築分野

■ ユニバーサルデザインまちづくりモデル計画

島田市と協力して市の中心市街地をモデルにユニバーサルデザインの考え方を取り入れたまちづくり計画を策定しました。策定にあたっては、学識経験者、住民代表者、事業者、行政の担当者からなる計画策定委員会での検討をはじめ住民へのアンケートやヒアリングなどを行っています。(平成11年度)

■ 道路もユニバーサルデザイン「みんなが使いやすい道づくり」

県内の道路整備に関するユニバーサルデザインの事例を写真等で紹介しています。(平成12年度)

■ タウンモビリティ先進事例集

市町村や商業団体、NPO、社会福祉団体等がタウンモビリティへの取組を始めようとする際の参考となるよう、英国や国内での運用事例について取りまとめたものです。(平成12年度)

■ 道路もユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインによるまちづくりの事例を、「駅前」「街の中」「乗り物」「公園」の場面ごとのイラストと写真で分かりやすく紹介しています。(平成16年度)

■ ユニバーサルデザイン みんなにやさしい街づくり

「道路もユニバーサルデザイン」を小学生向けに編集しました。(平成17年度)

■ ふれあい空間ユニバーサルデザイン導入モデル

自然志向やアウトドア志向が増加する中、新たなレジャーの場として農山村地域で休日を過ごすグリーン・ツーリズムを多くの人に楽しんでもらうため、ユニバーサルデザイン導入の指針を作成しました。(平成11年度)

■ リフレッシュ市民農園の進め

野菜や花づくりなどを通して、健康促進や癒しの効果を得る園芸セラピーの考え方や、高齢者や身体に障害のある人など誰もが利用できるようにユニバーサルデザインを導入した市民農園を紹介しています。(平成12年度)

■ ユニバーサルデザイン対応商店街・商店づくりマニュアル

これからの商店街は、独自のサービスを提供したり自分の商店にしかない商品を売り出すなど、特色を持つことが必要であることに着目し「ユニバーサルデザイン」をキーワードとした商店街づくりを提唱しています。(平成12年度)

■ ユニバーサルデザイン開発の手引

企業がユニバーサルデザインの考え方に基づいた製品開発やシステムの開発に取り組む手がかりとなるよう、ユニバーサルデザインに配慮した製品の事例や各種データを掲載しています。(平成12年度)

■ みんなが喜ぶ店づくり

商店を訪れるお客様が不便さや不満を感じる部分を改善し、快適で楽しく買い物をしてもらうためのアイデア・ヒント集です。個店での取組事例から、歩道にベンチを置いたり、ファミリートイレを設置したりするなど商店街で取り組む幅広い実践事例を紹介しています。(平成15年度)

■ みんなが喜ぶ宿づくり

施設や従業員のサービス面でのユニバーサルデザイン導入方法を、宿泊客の受付から食事・チェックアウトまで順を追って紹介しています。モデル事例や実践事例を交え、写真・イラスト・漫画等でわかりやすく作成しました。(平成16年度)

■ みんなにやさしいものづくり

ユニバーサルデザインを取り入れて、誰もが働きやすい安全で快適な職場づくりやすべての人にやさしいものづくりを実践するため、参考となる事例や企業の経営者、担当者の声を紹介しています。(平成16年度)

■ ユニバーサルデザインのためのモノづくりシステム

製造業が「モノのUD」を推進していくためには、「UD商品であることの指標と基準」を定量的なデータで提示する必要があることから、静岡工業技術センター(現 静岡工業技術研究所)が実施した「ユニバーサルデザインのためのもの作りシステム開発」の研究過程と実験データを取りまとめています。(平成16年度)

■ わかりやすい印刷物の作り方

誰にでもわかりやすい情報を提供するため、文章の表現や印刷物の表現方法、視覚に障害のある人への情報伝達など工夫や配慮が必要な点を、事例を交えて紹介しています。(平成12年度)

■ ホームページ作成のガイドライン

様々な人々が利用しているインターネット。理解力、技術力、身体能力などが異なる様々な人や環境に配慮したホームページ作成の注意点を記載しました。(平成13年度)

■ カラーユニバーサルデザインについての指針

印刷物などを作成する際、色の見え方に差のある人たちに等しく情報が伝わるには、具体的にどのようにすべきかなどの注意点をまとめた指針です。色覚のタイプによる見え方のシミュレーションや配慮のポイントなどを紹介しています。(平成17年度)

■ 印刷物へのSPコード利用の手引き

視覚に障害のある人等へ情報を提供するため、印刷物の文字情報を音声情報に変換できるSPコードの作成や利用の仕方を紹介しています。(平成18年度)

■ ユニバーサルデザイン実践マニュアル

誰もが楽しく参加できるイベントを運営するため、イベントの企画・構想、計画、会場設営、実施・運営という様々な場面でのチェックポイントや対応方法を紹介しています。(平成13年度)

■ スポーツイベントにおけるユニバーサルデザイン事例集

「NEW!!わかふじ国体」と「わかふじ大会」の開催を契機に、誰もがスポーツを楽しむことができるよう、「観る」「する」「支える」の3つの観点からスポーツにおけるユニバーサルデザインの事例を紹介しています。(平成14年度)

- : 静岡県のできごとを示す
- ▲: 国内のできごとを示す
- : 国際的なできごとを示す

- 2008年 ●第9回世界高齢者団体連盟 (IFA) 世界会議 (カナダ) で静岡県知事講演
▲重度の聴覚障害者の運転免許取得などを可能にした改正道交法が6月に施行
▲2000年設置の「バリアフリー関係閣僚会議」を改組し、「バリアフリー・ユニバーサルデザイン関係閣僚会議」を設置
▲閣僚会議で「バリアフリー化推進要綱」を「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進に関する要綱」に改正、バリアフリー化功労者表彰の名称をバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に改正 (内閣府)
- 2007年 ●「ユニバーサル技能五輪国際大会」が静岡市と沼津市で開催
▲公共トイレの操作ボタンの種類・形状、配置などの統一を図る日本工業規格 (JIS) が定まる
▲標準案内用図記号のうち、洪水関連図記号3項目が新たにJISに追加 (計113項目)
▲国連障害者権利条約に日本が署名
- 2006年 ▲「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(通称「バリアフリー新法」) 制定 (同年12月施行)
▲国際ユニバーサルデザイン会議2006が京都市で開催
■国連で障害者権利条約採択
- 2005年 ●新行動計画「しずおかユニバーサルデザイン2010」がスタート
▲障害者自立支援法制定 (2006年4月施行)
▲ユニバーサルデザイン政策大綱を策定 (国土交通省)
▲「コミュニケーション支援用絵記号デザイン原則」の規格 (JIS T0103) を制定
- 2004年 ●第10回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 (TRANSED2004) が浜松市で開催
▲バリアフリー化推進要綱を策定 (関係閣僚会議)
▲障害者基本法改正
▲学校施設バリアフリー化推進指針策定 (文部科学省)
- 2003年 ▲改正ハートビル法が施行され、特定建築物の範囲拡大や特別特定建築物の一定規模 (2,000㎡) 以上の建築などでのバリアフリー対応利用円滑化基準適合義務づけ
▲国際ユニバーサルデザイン協議会設立
- 2002年 ▲「第6回DPI(障害者インターナショナル) 世界会議札幌大会」開催
▲「国際ユニバーサルデザイン会議2002」が横浜市で開催
▲「標準案内用図記号」のうち110項目について、平成14年3月JIS化 (JISZ8210)
■「第2回国連高齢者問題世界会議」が開催
- 2001年 ▲新「高齢社会対策大綱」が閣議決定
▲「標準案内用図記号」を決定 (一般案内用図記号検討委員会)
- 2000年 ●しずおかユニバーサルデザイン行動計画がスタート
▲バリアフリー化推進功労者表彰開始 (内閣府)
▲「高齢者・身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律 (交通バリアフリー法)」制定 (同年12月施行)

- 1999年 ●静岡県企画部にユニバーサルデザイン室設置
▲「生活関連新機能加工製品懇談会」開催
▲「歩道における段差及び勾配等に関する規準」改定 (建設省)
▲「道路空間のユニバーサルデザインを考える懇談会」策定 (建設省)
▲「鉄道駅におけるエレベータ及びエスカレータの整備指針」策定 (運輸省)
▲「歩いて暮らせる街づくり推進要綱」策定 (警察庁ほか)
▲「住宅の品質確保の促進等に関する法律」制定 (2000年4月施行)
▲「高齢者保健福祉5ヵ年計画 (ゴールドプラン21)」策定 (厚生省)
▲「重点的に推進すべき少子化対策の具体的実施計画について (新エンゼルプラン)」策定 (労働省ほか)
▲財団法人「共用品推進機構」設立
■「国際高齢者年」(国連)
- 1998年 ■アメリカでリハビリテーション法508条修正 (政府機関では、第508条の基準に沿った機器やソフトウェアの使用を義務づけている)
- 1997年 ●静岡県人権啓発センター開設
- 1996年 ▲「生活福祉空間ガイドライン」策定 (建設省)
▲「高齢社会対策大綱」が閣議決定
▲「住宅金融公庫融資制度」の改定
▲「公営住宅法」の改正
- 1995年 ●「静岡県福祉のまちづくり条例」制定 (1996年4月施行)
▲「障害者プラン (ノーマライゼーション7ヵ年戦略)」策定 (障害者対策推進本部)
▲「高齢者社会対策基本法」制定 (同年12月施行)
- 1994年 ▲「長寿社会対応住宅設計指針」制定 (建設省)
▲「公共交通施設改良事業」創設 (自治省)
▲「公共交通ターミナルにおける高齢者・障害者等のための施設整備ガイドライン」策定 (運輸省)
▲「みんなが使いやすい空港旅客施設新整備指針 (計画ガイドライン)」策定 (運輸省)
▲「高齢者・身体障害者が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律 (ハートビル法)」制定 (同年9月施行)
▲「人に優しい建築物整備促進事業」創設 (建設省)
▲「生活福祉空間づくり大綱」策定 (建設省)
▲「学校施設等における高齢者・障害者等の円滑に利用できる建築物の建築の促進について」策定 (文部省)
▲「新高齢者保健福祉推進10ヵ年戦略 (新ゴールドプラン)」策定 (厚生省)
▲「今後の子育て支援のための施策の基本的方向について (エンゼルプラン)」策定 (労働省など)
- 1993年 ▲「鉄道駅におけるエレベーターの整備指針」策定 (運輸省)
▲「道路構造令」改定 (建設省)
▲「障害者対策に関する新長期計画」策定 (総理府)
▲「障害者基本法 (心身障害者対策基本法の改正)」制定 (同年12月施行)
- 1992年 ▲「福祉のまちづくり条例」制定 (兵庫県【同年10月施行】および大阪府【1993年5月施行】)

- 1991年 ▲「鉄道駅におけるエスカレーターの整備指針」策定(運輸省)
▲「福祉の街づくりモデル事業」創設および「建築設計基準」改正(建設省)
▲「地域福祉推進特別対策事業」創設(自治省)
▲「E&Cプロジェクト」創設
- 1990年 ▲「シニア住宅供給推進事業」創設(建設省)
■アメリカで「障害をもつアメリカ人法(ADA)」制定
- 1989年 ▲「高齢者保険福祉推進10ヶ年戦略(ゴールドプラン)」策定(厚生省)
- 1987年 ▲「シルバーハウジングプロジェクト制度」創設(建設省)
- 1986年 ▲「DPI日本会議」発足
▲「高齢社会対策大綱」が閣議決定
- 1985年 ▲「視覚障害者誘導用ブロック設置指針」策定(建設省)
- 1983年 ▲点字ブロックを必ず設置(国鉄)
▲「公共交通ターミナルにおける身体障害者用施設整備ガイドライン」策定(運輸省)
■「国連・障害者の10年」開始(国連)
- 1982年 ▲「老人保健法」制定(厚生省)(施行1983年2月)
▲「障害者対策に関する長期計画」策定(総理府)
▲「身体障害者の利用を配慮した建築設計標準」策定(建設省)
- 1981年 ▲「官庁営繕における身体障害者等の利用を考慮した設計指針」策定(建設省)
■「国際障害者年」(国連)
- 1980年 ▲「公営住宅法」改正
- 1978年 ▲「道路交通法」の改正
- 1977年 ▲「市民の福祉を守る条例」制定(神戸市)
- 1974年 ▲「建築物等に関する福祉環境整備要綱」制定(町田市)
- 1973年 ▲「身体障害者福祉モデル都市設置事業」創設(厚生省)
▲「歩道段差切り下げ・視覚障害者誘導用ブロック指針」策定(建設省)
■アメリカでリハビリテーション法第508条制定(建築・輸送障害認定委員会が発足し、罰則規定が制度化)
- 1970年 ▲「心身障害者対策基本法」制定(同年5月施行)
- 1963年 ▲「老人福祉法」制定(同年8月施行)
- 1961年 ■アメリカで「身体障害者にアクセスしやすく使用しやすい建築・施設設備に関するアメリカ基準仕様書ANSI117.1」策定
- 1949年 ▲「身体障害者福祉法」制定(1950年4月施行)
- 1947年 ▲「児童福祉法」制定(1948年1月施行)

関連用語

アクセシブルデザイン (Accessible Design)

「近づきやすく利用しやすい」製品、空間、サービスのデザインで、そのために必要な条件(国や地域などで決められた法規や規格)を満たしていることです。例えば、障害のある人や高齢者を含むすべての人にとって建物への出入りがしやすいこと、交通機関の利用が可能なこと、電気製品が自由に使えること、あるいは誰もがあらゆる社会・経済活動に参加できる状態などのこと。

ADA法 (Americans with Disabilities Act : 障害を持つアメリカ人法)

1990年にアメリカで制定されました。公共の施設や交通、通信、就職などで、障害のあることを理由に差別することを禁じた法律です。

サステナビリティ (Sustainability)

日本語で持続可能性。人間活動、特に文明の利器を用いた活動が、将来にわたって持続できるかどうかを表す概念です。

バリアフリーデザイン (Barrier Free Design)

障害のある人が社会生活をする上での障壁(バリア)を除去していこうとすることを意味しています。1974年(昭和49年)国連障害者生活環境専門家会議が「バリアフリーデザイン」という報告書を出してから使われるようになりました。もともとは建築用語として使われ始めたため、建物内の段差解消など物理的障害除去の意味合いが強いのですが、現在では、障害のある人の社会参加を、困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁の除去という広い意味で用いられています。

ユーザビリティ (Usability)

「使いやすさ」と訳されています。使い手が、製品、空間、サービスなどを利用する場合、それによって当初考えられた目標を達成するために用いられる有効さ、効率性、満足度などの度合いで、国際規格ISOの対象にもなっています。

ユビキタス (Ubiquitous) 社会

「ユビキタス」という言葉は、ラテン語で「いたるところに在る。偏在する」ということを意味します。ユビキタスネットワーク社会とは、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークにつながることに、様々なサービスが提供され、人々の生活を豊かにする社会のことです。

ユニバーサルデザイン (Universal Design)

できる限り最大限、すべての人に利用できるように製品、空間、サービスなどをデザインすることを意味します。能力に関わらず、高齢者や妊産婦、子ども、外国人、障害のある人などすべての人が利用できるような製品やサービスを提供しようということで、1980年代にアメリカ・ノースカロライナ州立大学のロナルド・メイス氏(Ronald L. Mace, 1941年~1998年)によって提唱されました。

1990年代半ばになると、ロナルド・メイス氏などユニバーサルデザインに関係する人たちによって、7つの原則①公平な実用性(役に立ち、市場性がある)②利用における柔軟性(個人の好みや能力に対応している)③直感的な利用(経験、知識等に無関係に使える)④感覚でわかる情報(知覚や環境条件に関わりなく効率的に情報を提供する)⑤失敗に対する寛大さ(事故や間違いで生ずる危険を最小限にする)⑥少ない身体的努力(肉体的疲労を最小限に抑えられる)⑦利用しやすい大きさと空間(体格、姿勢などに無関係に使用できる)が発表されました。

Special Thanks

・御就任当時の所属を記載してあります。
・五十音順、敬称略

| 氏名 | 所属 | 就任期間 |
|---------|------------------------------------|-----------------------------|
| 相川アンジェラ | ブラジルコミュニティイベントコーディネーター | 平成19年度～平成20年度 |
| 青野全宏 | 障害者生活支援センターCIL静岡 代表 / 社会福祉法人ピロス 理事 | 平成11年度、平成17年度～平成19年度、平成20年度 |
| 赤池学 | (株)ユニバーサルデザイン総合研究所 所長 | 平成19年度～平成20年度 |
| 秋山哲男 | 首都大学東京大学院 都市科学研究科 教授 | 平成11年度～平成13年度、平成17年度～平成19年度 |
| 渥美雅子 | 弁護士 | 平成11年度 |
| 荒井正明 | (社)静岡県バス協会 専務理事 | 平成11年度 |
| 稲葉きみ江 | (有)大東館 代表取締役 | 平成18年度～平成20年度 |
| 磯部友彦 | 中部大学 工学部 助教授 | 平成14年度 |
| 伊藤光造 | (株)地域まちづくり研究所 所長 | 平成11年度 |
| 上島清介 | (福)静岡県社会福祉協議会 会長 / ヤマハ(株) 名誉会長 | 平成11年度 |
| 内田宏康 | NPO法人福祉のまちづくり市民ネットワーク 事務局長 | 平成16年度 |
| 岡本美奈子 | (社)日本青年会議所東海地区協議会会長 | 平成11年度 |
| 小川裕子 | 静岡大学 教育学部 助教授 | 平成14年度 |
| 興津久美子 | JRPS(日本網膜色素変性症協会) 静岡支部長 | 平成12年度～平成13年度 |
| 加藤達男 | (株)松坂屋 静岡店長 / 静岡百貨店協会 会長 | 平成17年度～平成18年度 |
| 鴨志田厚子 | (財)共用品推進機構 理事長 | 平成11年度～平成13年度 |
| 川内美彦 | 一級建築士事務所アクセスプロジェクト 代表 | 平成14年度～平成16年度 |
| 葛西紀巳子 | (有)色彩環境研究室 代表取締役 | 平成19年度～平成20年度 |
| 川口良子 | (株)川口建築都市設計事務所 専務取締役 | 平成12年度～平成14年度、平成19年度 |
| 川村美智 | (株)静岡新聞社 生活文化部 専任部長 | 平成20年度 |
| 紀 薫子 | 全国ユニバーサルサービス連絡協議会 代表 | 平成20年度 |
| 木村泰子 | 磐田市立豊田南中学校 教頭 | 平成18年度 |
| 吉良康宏 | ヤマハ(株)デザイン研究所 所長 | 平成17年度～平成18年度 |
| 久保田翠 | NPO法人クリエイティブサポートレッツ 理事長 | 平成17年度～平成19年度 |
| 栗田 仁 | 常葉学園短期大学 講師 | 平成15年度 |
| 黒須正明 | 文部科学省 メディア教育開発センター 教授 | 平成15年度～平成16年度 |
| 古瀬 敏 | 静岡文化芸術大学 デザイン学部 教授 | 平成11年度、平成16年度～平成20年度 |
| 後藤恵美子 | 視覚障害を持つ子(者)の将来を考える会 代表 | 平成16年度 |
| 迫 秀樹 | 静岡文化芸術大学 デザイン学部 准教授 | 平成14年度、平成17年度～平成20年度 |
| 佐藤登美 | 静岡県立大学 看護学部 教授 | 平成17年度～平成18年度 |
| 阪本節郎 | (株)博報堂エルダービジネス推進室 チーフコンサルタント | 平成19年度～平成20年度 |
| 篠原光秋 | (株)静岡新聞社 論説委員 | 平成14年度～平成15年度 |
| 清水 茜 | 慶應義塾大学 学生 | 平成12年度～平成13年度 |
| 清水忠男 | 千葉大学 工学部 教授 | 平成12年度～平成14年度 |
| 霜島隆弘 | 静岡県百貨店協会 会長 / (株)松坂屋 静岡店長 | 平成11年度 |
| 白石正明 | NPO法人ユニバーサル社会工学研究会 理事長 | 平成14年度～平成20年度 |
| 杉山るみ | 杉山一級建築設計事務所 主宰 | 平成11年度 |
| 鈴木淳 | NPO法人ユニバーサルファッション協会 副理事長 | 平成12年度～平成14年度 |

| 氏名 | 所属 | 就任期間 |
|-------|--|-----------------------------|
| 鈴木啓子 | アトリエ,す 代表 | 平成19年度～平成20年度 |
| 関根千佳 | (株)ユーディット<情報のUD研究> 代表取締役 | 平成12年度～平成14年度、平成17年度～平成18年度 |
| 園田正世 | 育児サークル「かんがるーぐみ」 副代表 | 平成14年度 |
| 園田真理子 | 明治大学 理工学部 教授 | 平成12年度 |
| 高橋正幸 | 起立木工(株) 代表取締役社長 | 平成20年度 |
| 竹川智子 | (株)フラン 代表取締役 | 平成17年度～平成19年度 |
| 竹下雄一郎 | 静岡新聞社編集局学芸部 専任部長 | 平成16年度 |
| 田崎裕美 | 静岡福祉大学 短期大学部 教授 | 平成20年度 |
| 多々良善哉 | NPO法人静岡光の家 事務局長 | 平成14年度～平成19年度 |
| 田中直人 | 摂南大学 工学部 教授 | 平成12年度～平成14年度 |
| 田辺 学 | NPO法人E&C静岡 理事 | 平成15年度 |
| 戸谷知恵子 | ユニバーサルデザイン研究会 会長 / バリアフリー伊豆研究会 会長 | 平成11年度 |
| 利根川初美 | シーズリサーチ研究所 | 平成17年度～平成18年度 |
| 豊田久留巳 | 子育て情報誌 編集グループ「空飛ぶらくだ」 代表 | 平成11年度 |
| 中川 聡 | トライポッド・デザイン(株) 代表取締役 | 平成16年度、平成20年度 |
| 中村孝一 | 常葉学園大学 教育学部 准教授 | 平成16年度～平成20年度 |
| 成田真由美 | 日本テレビ放送網(株) | 平成14年度～平成16年度 |
| 南条道昌 | (株)都市計画設計研究所 会長 | 平成17年度～平成18年度 |
| 西岡あおい | NPO法人E&C静岡 副理事長 | 平成16年度～平成18年度 |
| 新田静江 | 静岡県立大学 看護学部 助教授 | 平成13年度～平成14年度 |
| 野口武利 | 前静岡県労働福祉協議会 会長 | 平成16年度 |
| 野村みどり | 東京電気大学 情報環境学部 教授 | 平成15年度～平成16年度 |
| 橋本裕子 | 弁護士 | 平成16年度 |
| 東 恵子 | 東海大学 開発工学部 教授・短期大学部 教授 | 平成15年度、平成20年度 |
| 廣部雅昭 | 静岡県立大学 学長 | 平成11年度 |
| 細澤安仁 | コンピュータープログラマー(第7回国際アビリンピック大会金賞受賞者) | 平成20年度 |
| 堀田龍也 | 静岡大学 情報学部 助教授 | 平成15年度 |
| 前田多可子 | 静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合 女性部会 会長 | 平成16年度 |
| 溝口紀子 | 静岡県立大学 短期大学部 助手 | 平成11年度 |
| 見野孝子 | (株)LCウエルネス 代表取締役 | 平成15年度～平成16年度、平成19年度～平成20年度 |
| 宮川潤次 | 静岡文化芸術大学 デザイン学部 教授 | 平成15年度～平成16年度 |
| 三好 泉 | 静岡文化芸術大学 デザイン学部 教授 | 平成17年度～平成18年度 |
| 森田みか | 静岡デザイン専門学校 教諭 | 平成17年度～平成19年度 |
| 守本尚子 | プロセスコンサルタント | 平成20年度 |
| 山内令子 | 静岡県知的障害者愛護協会 副会長 / (福)富岳会 理事長 | 平成11年度 |
| 山崎哲男 | しずてつジャストライン(株) 代表取締役社長 | 平成17年度～平成18年度 |
| 山崎泰広 | (株)アクセスインターナショナル 代表取締役 / 県障害者スポーツ協会 アドバイザー | 平成12年度～平成13年度 |
| 山脇 武 | しずてつジャストライン(株) 代表取締役社長 | 平成18年度～平成20年度 |
| 山田 稔 | 茨城大学 工学部 助教授 | 平成15年度 |
| 山本 肇 | 静岡県文化財団 副理事長 / NHK部外解説委員 | 平成12年度～平成13年度 |
| 吉川明子 | 吉川国際特許商標事務所 | 平成19年度 |
| 和田やよい | 横浜市工業技術支援センター | 平成16年度～平成18年度 |

静岡県の取組が掲載された雑誌等

| 雑誌名 | 発行時期 | 出版社 | 内容 |
|-------------------------|----------|--------------------|-----------------------------------|
| Universal Design04 | 平成11年9月 | (株)ジー・バイ・ケイ | 視点・論点Focus 知事・鴨志田氏対談 |
| Universal Design07 | 平成13年2月 | (株)ジー・バイ・ケイ | UD関連情報 |
| 月刊消費者 | 平成13年2月 | (財)日本消費者協会 | だれにもやさしい商品やサービス しずおかUDの事例 |
| 日経バリアフリーガイドブック | 平成13年11月 | 日経事業出版社 | 自治体がめざすUD 静岡県 UDコンテスト2001 公用封筒 |
| 日経UD | 平成13年3月 | 日経事業出版社 | UD全国大会 開催案内 |
| Universal Design09 | 平成14年3月 | (株)ジー・バイ・ケイ | トピクスUD事情 UD全国大会 UDスポーツ研究 エコバ事例 |
| ガバナンス | 平成14年3月 | (株)ぎょうせい | Reader's Library ユニバーサルデザイン入門 |
| ユニバーサルデザイン 日本デザイン学会誌 | 平成16年3月 | 日本デザイン学会 | 静岡県におけるUDへの取組 |
| Universal Design19 | 平成18年6月 | ユニバーサルデザイン・コンソーシアム | トピクスUD事情 第4回しずおかUD大会 |
| NIKKEI DESIGN | 平成18年8月 | 日経BP社 | UDビジネス・シンポジウム2006 知事講演 |
| 週刊文春 | 平成19年2月 | (株)文藝春秋 | 富士山こどもの国 |
| Universal Design25 | 平成20年1月 | (株)ユーディー・シー | 2007年ユニバーサル技能五輪国際大会 知事インタビュー |
| Universal Design26 | 平成20年4月 | (株)ユーディー・シー | 食のユニバーサルデザイン |

職員を講師として派遣

| 年度 | 派遣回数(回) | うち海外 | 対象人数(人) | うち海外 |
|--------|---------|------|---------|---------|
| 平成11年度 | 6 | - | - | - |
| 平成12年度 | 41 | - | 3,110 | - |
| 平成13年度 | 31 | - | 3,342 | - |
| 平成14年度 | 21 | - | 1,581 | - |
| 平成15年度 | 12 | - | 1,337 | - |
| 平成16年度 | 17 | - | 897 | - |
| 平成17年度 | 18 | (1) | 1,692 | (200) |
| 平成18年度 | 13 | (1) | 1,681 | (250) |
| 平成19年度 | 20 | (2) | 994 | (85) |
| 平成20年度 | 14 | (2) | 2,078 | (1,100) |
| | 193 | (6) | 16,712 | (1,635) |

注1)平成20年度は平成21年2月末日現在
注2) ()は内数

国内外からの視察の受入れ

| 年度 | 視察件数(回) | うち海外 | 視察者数(人) | うち海外 |
|--------|---------|------|---------|------|
| 平成11年度 | 8 | - | - | - |
| 平成12年度 | 23 | - | - | - |
| 平成13年度 | 23 | - | 122 | - |
| 平成14年度 | 31 | - | 91 | - |
| 平成15年度 | 41 | - | 204 | - |
| 平成16年度 | 20 | - | 60 | - |
| 平成17年度 | 19 | (1) | 54 | (2) |
| 平成18年度 | 8 | (1) | 34 | (1) |
| 平成19年度 | 19 | (6) | 67 | (34) |
| 平成20年度 | 7 | (2) | 14 | (4) |
| | 199 | (10) | 646 | (41) |

注1)平成20年度は平成21年2月末日現在
注2) ()は内数

表3

静岡県県民部ユニバーサルデザイン企画監

〒420-8601静岡市葵区追手町9番6号

TEL 054-221-3153 FAX 054-221-2827

E-mail ud@pref.shizuoka.lg.jp <http://www.pref.shizuoka.jp/ud>

平成21年(2009年)3月発行

しずおかユニバーサルデザイン

検索